Social Welfare Organization Imperial Gift Foundation, Inc. Hitachiomiya Saiseikai Hospital

public relations magazine SAISEI Oh! MIYA

済生 おみや

わたしたち常陸大宮済生会病院と
皆さんを結ぶ広報誌

Hitachiomiya Saiseikai Hospital

苦労知らず 不苦労（ふくろう）の
一年でありますように

特集 新しい年を迎えて

- 新年のご挨拶
- こどものインフルエンザ
- 年賀状お届けします
- KENPOKU ART 2016 に行ってきました
- こんにちは! 常陸大宮済生会病院です「放射線技術科」ほか

2017
第5号
新年号

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 茨城県済生会
常陸大宮済生会病院

新年を迎えるにあたって

病院長　河 野 幹 彦

新年、明けましておめでとうございます。

昨年の 10 周年記念式典及び病院まつりは主催者が驚くほど盛況のうちに終了することができました。地域の多くの皆様に当院を知っていただいたことが大きな喜びであります。

本年は「酉」年であります。「酉」は元々「酒つぼ」で、「酒を造る、つまり酒が造れるほど果実が熟した状態」を意味するとのことです。また、「酉」は「取り込む」に繋がり、「酉」年は「商売繁盛」にも繋がるとのことです。病院が繁盛するということは健康を害している人がその地域に多いということになり、社会的には良いことではありませんが、地域の皆様が悩んでいる病気を治し、健康を維持・増進させることに対して病院が繁盛することは悪いことではないと考えます。地域の皆様に安心して受診していただける病院となるように職員一同心がけたいと考えています。

本年の目標の一つは病院のさらなる美化です。病院は清潔できれいな職場であるべきです。昨年から職員の発案で敷地内美化運動が始まっています。病院周囲は自然豊かですので木の葉などの自然ゴミがある程度存在するのは仕方ありませんが、紙クズやビニール袋などの人工ゴミはゼロにしたいものです。その中でたばこの吸い殻が駐車場に散見されます。昨年、病院敷地内での喫煙が社会問題となりました。「禁煙外来」を掲げるためには病院敷地内全面禁煙が必須の条件となります。当院も「禁煙外来」を掲げていますので駐車場（駐車中の車内でも）を含め敷地内禁煙となっています。ご協力をお願いいたします。

当院は、茨城県北西部唯一の急性期病院で、365 日 24 時間の二次救急医療を行っています。全国的に地域の病院は医師不足でありますが、当病院を含めた二次医療圏は人口当たりの医師数が全国でも下から 10 番目位の状況にあります。当院も深刻な医師不足でありますが、昨年 4 月から 12 月までの 9 か月間で約 1000 台の救急車を受け入れました。当院は総合病院ではなく、常勤医がわずか 13 名の病院ですので 1 人当たりにすると大変な受け入れ数となります。現在常勤医不在の循環器内科、整形外科、脳外科などの医師確保に努め、当地域の皆様に安心して暮らしていただけるように今後も誠心誠意努力したいと存じます。

本年も、ご支援ご協力の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

表紙写真について

今号の表紙の写真は、茨城県と栃木県の県境にある「鷲子山上神社」（とりのこさんしょうじんじゃ）です。こちらの神社は、県境が大鳥居の中央、並びに奥の御本殿の中央を通るという全国でも珍しい神社であり、神社のある鷲子山の御祭神が天日鷲命（アメノヒワシノミコト）という鳥の神様ということで、フクロウが祀られています。

今年は酉年、フクロウにあやかり不苦労（ふくろう）な一年でありますように。

こどものインフルエンザ

小児科部長
伊東岳峰

今シーズンは、例年よりも早い流行が心配されていますが、2017年1月はじめの時点で、当地域で大きな流行に至っていません。ただ、これから本格的な流行が予想され、注意が必要です（これを読む頃に流行している?）

■症　状

突然の高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、倦怠感などで発症し、その後、鼻汁や咳を伴います。発熱は4-5日位で多くが改善しますが、二峰性の発熱（解熱して落ち着いたと思ったら再び発熱）を示すこともあります。なお、**異常行動・言動（脳症の初発症状の可能性）のリスクがあり、発症後2日間は十分な観察が必要です（一人きりにさせないで下さい）**

■合併症

①インフルエンザによる気管支炎・肺炎、クループ症候群、中耳炎、熱性痙攣、脳症、筋炎など
（脳症の初発症状は痙攣、意識障害です。**痙攣が出た、意味不明の行動・言動が続く、意識がおかしいなどがあれば、早めに医療機関や小児救急電話相談〔＃8000〕にご相談下さい）**

②インフルエンザ後の細菌感染（二次感染）
⇒抗生物質が必要

■診　断

経過、診察所見、流行状況などから総合的に判断します。迅速検査を活用することも多いのですが、ある程度ウィルスが増殖しないと検出されず、**発熱後12～24時間以降に検査するのがいいタイミングです。**保険診療の面からも検査回数は限られ、また苦痛を伴う検査ですので、**発熱すぐの検査希望はお勧めしていません。**

■治　療

▶抗インフルエンザ薬

内服薬（タミフル：1歳から）、吸入薬（リレンザ：5歳から、イナビル：吸入できる1歳以上）、点滴薬（ラピアクタ）があります。また、麻黄湯という漢方が有効なこともあります。**ただし、ここで誤解しないで欲しいのは、これらの薬がインフルエンザウィルスを直接やっつけるのではなく、「これ以上増やさないようにする」ということです（つまり、既に増殖したウィルスは自分の防衛能力で抑え込むしかなく、これがうまくいくかで解熱時期が違います）。**このため、ウィルスが増殖し過ぎると薬の効果が落ち、**「発症後2日以内」にこれらの薬を開始することが重要です**（言いかえると、2日以上経過した場合や軽症の場合、抗インフルエンザ薬は必須ではなく、自分の力で抑え込むのを待つのみでよい）

なお、タミフルについては、異常行動・言動のリスクから10歳以上の未成年は原則として控えるよう示されていますが、因果関係は明らかでなく、他の抗インフルエンザ薬でもインフルエンザ自体でも起こり得る症状なので、タミフルでなければ安心というのは誤解です

▶対症療法：解熱鎮痛薬や（痰がらみに対し）去痰薬の使用など

発熱の対応については、前回の済生おおみや第4号（2016秋号）にまとめたので、ご参照下さい。なお、**インフルエンザで小児に使用可能な解熱鎮痛薬はアセトアミノフェンのみ**で、大人用の解熱鎮痛薬（アスピリン、ジクロフェナクナトリウムなど）は脳症などのリスクがあり使用すべきではありません（例：バファリンはダメ。小児用バファリンは大丈夫）

■予　防

予防の基本は「ワクチン」です。有効率は必ずしも高くありませんが、発熱期間の短縮につながる可能性はあり、軽症化も期待できます

ただ、**その子がワクチンを接種することだけが予防というのではなく、周りもワクチンをうつ、マスク・ティッシュ・ハンカチをうまく使う（咳・くしゃみでウィルスが飛び散って広がるのを防ぐ）、手洗い・うがいの励行、部屋を乾燥させない、流行期に人混みに出ない、規則正しい生活、バランスのとれた栄養、なども含めて予防である**とご認識下さい。

■その他

※ インフルエンザの情報は流動的なので、まめに新しい情報を確認すべきです。厚生労働省（http://www.mhlw.go.jp/）や国立感染症研究所（http://www.nih.go.jp/niid/ja/）から多くの情報を入手できます。ワクチンについては「KNOW VPD」（http://www.know-vpd.jp/）がお勧めです

なにかあれば、遠慮なく、小児科スタッフにご相談下さい

年賀状お届けします

放射線技術科

薬剤科

看護部　外来

看護部　2階病棟

看護部　3階病棟

看護部　4階病棟

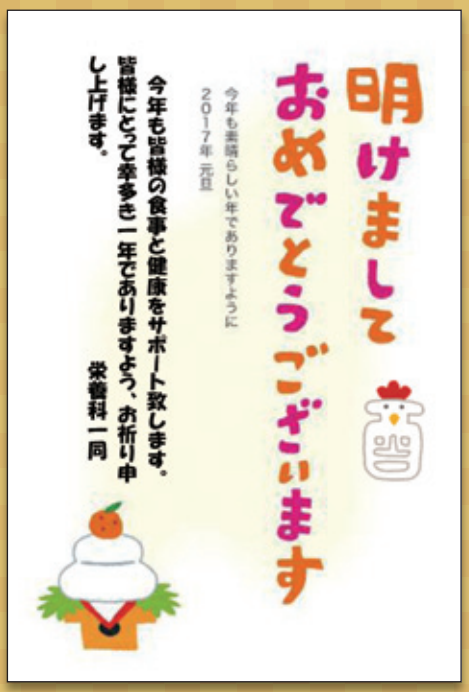
明けまして おめでとう ございます

わたしたち常陸大宮済生会病院は、本年も【患者中心の医療】【安全で質の高い医療】【地域に開かれた病院】を基本理念とし、地域・患者のみなさんにとって、より身近な病院となるため邁進してまいります。

今回みなさんへ新年のごあいさつとしまして、各部門工夫をこらし年賀状をご用意しましたので是非ご覧ください。

臨床検査科

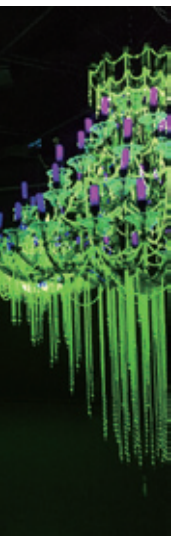
リハビリテーション科

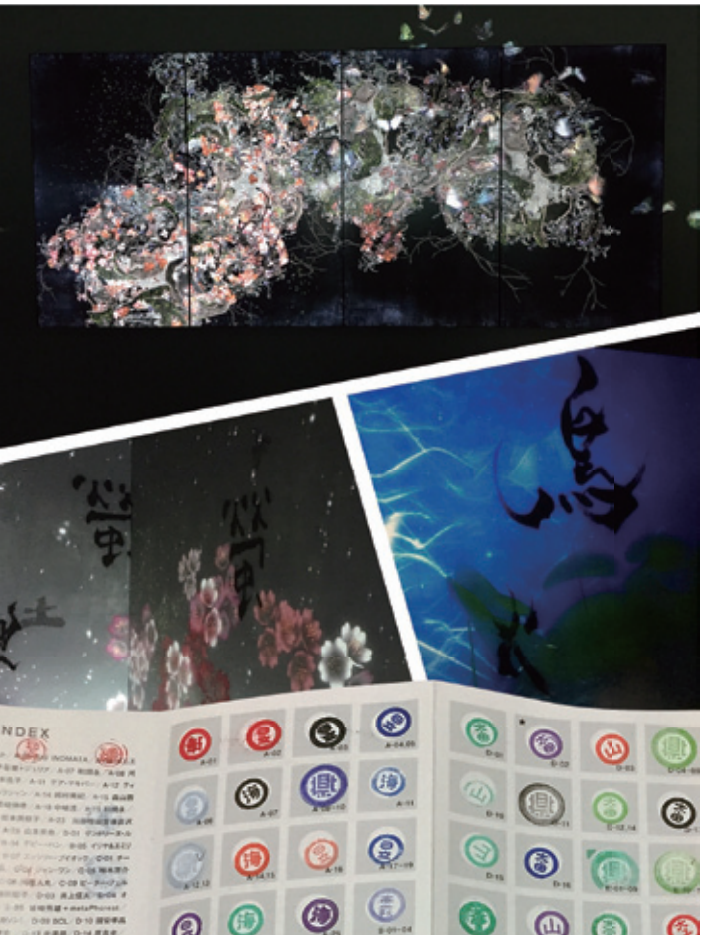


栄養科

事務部

広報委員会





茨城県北芸術祭　2016. 09. 17-11. 20

KENPOKU ART 2016
に行ってきました

■■　4階病棟　**淺川　恵美子**

【海か、山か、芸術か？】というテーマで昨年の9月17日から11月20日まで開催されていた茨城県北芸術祭。海側は北茨城、高萩、日立、山側は大子、常陸太田、常陸大宮と地元で開催されていて、通勤途中など身近な場所でアートが楽しめました。

日立シビックセンターにはウランガラスで作られたシャンデリアや、福島で被爆した蝶の剥製を使った作品がありました。

アートと言っても、わかりやすい絵画や彫刻だけではなく、動物のフンを漆で固めたオブジェや苔玉、編み物、物々交換など様々な形でアートが表現されていました。

スタンプラリーもあり、スタンプを30個以上集めて応募すると景品が当たることもあり、30個集めることを目標に、最終日までに全箇所クリアできました。道の駅かわプラザの作品は、現在も展示されているので是非行ってみてください。

■■　薬剤科　**岡崎　仁**

75万人超の来場者を記録したKENPOKU ART。

その中で最も印象的だったのが、家和楽地区に展示されたザドック・ベン＝デヴィットの『ブラック・フィールド』。

砂上に広がる27,000本の金属の植物。唯一無二、モノクロとカラフルが同居するその世界に息を呑みました。

高齢化で静けさが広がる県北地域を、芸術を楽しむ穏やかな空間に変えた素晴らしい企画だと思います。

■■　医事課　**川又　美穂**

県北芸術祭、海側：北茨城・高萩・日立と周りました。お目当ては五浦美術館でのチームラボ〝小さきものの中にある無限の宇宙に咲く花々〟抹茶の表面に浮かび上がる花が、茶碗を動かすと美しく散るデジタル作品で、軌跡の余韻がとても綺麗でした。ＶＲ作品体験は感動しました。また、高戸小浜、小貝ヶ浜緑地の景色にも感動しました。新しい場所、物に刺激を受け楽しい一日でした。

■■　医事課　**萩谷　美香**

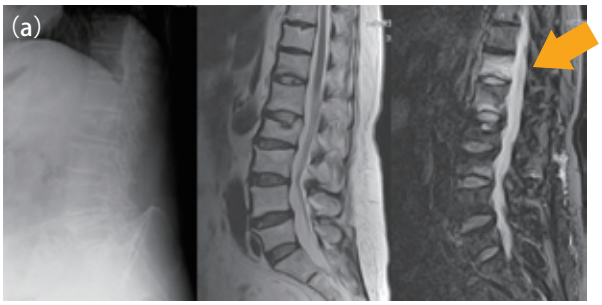
常陸大宮市の芸術祭の会場すべて周ってみて来ましたが、なかでも旧家和楽青少年の家の作品は体育館の床一面に無数の金属製の植物のシルエットが佇んでいて、色のない世界から一変、裏側は色とりどりの世界に変わるその異様な光景に驚かされ、ずっと眺めていたくなるような素敵な作品でした。

診療放射線技師は、放射線技術の専門知識を生かして、放射線や検査の説明、目的に応じた撮影、三次元画像の作成や読影の補助などを行っています。

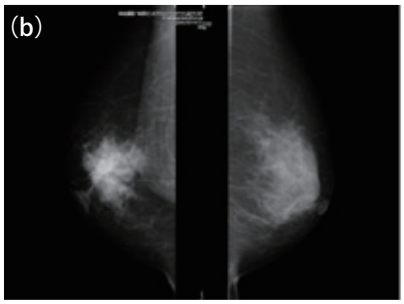
放射線の照射は正しく利用しないと人体に害を及ぼす危険性があるため、放射線の専門家である診療放射線技師と、医師、歯科医師にしか認められていません。放射線機器や被ばくの管理なども我々診療放射線技師の重要な業務となります。

■ 医療機器

当院には一般 X 線撮影（レントゲン検査）だけでなく、マンモグラフィや体内の断面図を撮影する X 線 CT や MRI（磁石の力を利用）、造影剤を使って臓器や血管を描き出す X 線 TV・血管造影装置があります。



(a) MRI は骨の辺縁を明瞭に描出するだけでなく、新しく骨折したかどうかも分かります。



(b) 乳がんの早期発見に向けて、専任の技師が撮影をおこなっています。

近年放射線機器の発達は目覚ましく、日々知識を増やしていかなければなりません。放射線を用いた検査や治療が、最小限の線量で最大限の効果が得られるように、つまりは低被ばくで診断しやすい写真を提供できるよう技術を磨き続けています。

■ 気になることがあったらお気軽にご相談下さい

- 検査による被ばくのことが心配で…
- 体に金属があるけど検査して大丈夫？
- 着ている洋服は脱がないとダメ？
- 子供が X 線検査を受けても大丈夫？
- 検査後の注意点を詳しく知りたい
- 介助で撮影に立ち会った際の被ばくが気になる

当院の患者さまはご高齢の方が多く、体位変換や動かないで寝ていることに痛みを感じる方も少なくありません。患者さまの容態に合わせて『技師』らしく患者さまの苦痛が少なくなるよう努めていきますので、検査中何かありましたらお気軽におっしゃってください。

済生 おおみや 第5号
平成29年1月27日発行　編集：広報委員会　発行人：河野 幹彦

Oh!miya topics とぴっくす

当院の様々な出来事をお届けします

市民健康教室

第７回「認知症と生活習慣病の関係」
たくさんのご来場ありがとうございました。

茨城県修学生の集い

茨城県修学生の集い内 症例発表会において
内科 仲田医師（写真左）が「オーディエンス賞」、
外科 柳橋医師が（写真右）「優秀賞」を受賞しました。

かがやきまつり

今年度も常陸大宮市　総合保健福祉センター かがやきの
「かがやきまつり」に参加させていただきました。

病院敷地内全面禁煙

当院は受動喫煙対策義務を定めた健康増進法を受け
敷地内全面禁煙となっております
皆様ご協力のほどよろしくお願いいたします

出前健康講座 依頼募集中

地域の皆さまの健康づくりを推進するため、
常陸大宮済生会病院の職員が皆さまのところへ
お伺いし、健康に関する講話や健康相談を行います。

- 日時：応相談
- 会場：常陸大宮市内（ご用意いただいた会場へお伺いします）
- 費用：無　料
- 開催希望の1ヶ月前までにお申し込み下さい

お問い合わせ　0295-52-5151　総務課までお気軽にお問い合わせください。

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 茨城県済生会
常陸大宮済生会病院

〒319-2256 茨城県 常陸大宮市 田子内町３０３３番３
☎ 0295-52-5151 FAX 0295-52-5725

診療科目
内科 / 循環器内科 / 呼吸器内科 / 消化器内科
内分泌・代謝内科（糖尿病・脂質異常症） / 小児科 / 外科
消化器外科 / 整形外科 / 脳神経外科 / 泌尿器科
肛門外科 / 形成外科 / 皮膚科 / 放射線科

外来受付時間
午前 8:30～11:00（祝日を除く）月～金 土
※ 診療科により受付時間・曜日が異なる場合がありますのでお問い合わせください。

休診日
土曜日（第2・4を除く）、日曜日、祝日

予約の変更は
午後 1:00～5:00 月～金
☎ 0295-52-5151 予約担当

http://ho-saisei.jp
お知らせ・休診情報
最新情報はこちらで

■社会福祉法人恩賜財団済生会支部 茨城県済生会 常陸大宮済生会病院